

防災県土整備企業常任委員会活動評価総括表(平成29年度)

1 委員会活動の振り返り(委員間討議の結果の概要を記載する)

- ・年間活動計画はスケジュール通り行っていたと思うので評価したい。
- ・委員会の議論の内容と県内外調査先が密接に連携していたため、とても良かったと思う。
- ・県外調査で東北地方に行ったが、6年経った各地域の状況がよく分かり、三重県でどう生かしていくべきかということも大変参考になった。
- ・県内外調査は委員間で共有できるので有意義だと思うが、県財政が厳しい中で、場合によってはもう少しコンパクトにしても良いのではないか。
- ・実際に現場を見ることは非常に大事だと思うため、節約も大事だが、やるべきことはやる必要がある。
- ・議員間討議について、当委員会の中身を考えたとき、所管事項調査等の中では課題が見出しにくく、どのように充実させていくかが難しいと感じた。
- ・議員間討議では、もう少し委員が議論をするという意識を持つようにしていかないといけない。

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.8
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	3.8
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [・テーマの設定を意図しないと難しい。]	2.6
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	4.3

項目	評価の視点	平均点
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	3.8
(6)調査・審査結果の施策への反映	調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。 []	/

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。